平 成 28 年 度

主 要 な 施 策 の 成 果 説 明 書

中　央　区

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定に基づき、平成28年度における主要な施策の成果説明書を提出します。

平成29年9月22日

中央区長　　矢 田　美 英

主要な施策の成果について

平成29年1月、本区の定住人口は55年ぶりに15万人を突破しました。平成10年以降20年連続で人口増加は続き、平成28年の1年間では6,645人の増、特に30歳代から40歳代の子育て世代の増加が目覚ましく、出生数は63年ぶりに2千人を越え、2,032人にのぼりました。

こうした急激な人口増や人口構成の変化をはじめ、区政を取り巻く状況が大きく変容する中、一人一人が生きがいを持ち、安心して住み続けることができる活力ある地域社会へと発展していくためには、中・長期的なまちづくりの展望を持ちながら、子育て支援や高齢者施策の充実に加え、障害者支援の強化、グローバル時代を担う子どもを育てる教育施策の推進、本区の活気の源である商工業の活性化や都市観光の推進、都心の特性を踏まえた防災対策の強化などに着実に取り組んでいくことが必要です。

こうした状況を踏まえ、「基本計画2013」の4年目に当たる平成28年度は「魅力にみちた新たなステージへ！　―オリンピック・パラリンピックに向けて―」をテーマに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機と捉え、国内外から多くの人々が集い、誰もがあこがれるまちづくりを目指すとともに、「快適な都心居住」に不可欠な基盤整備に向けた施策を展開しました。中でも、喫緊の課題である待機児童解消に向けた保育施設の整備や高齢者グループホーム等の整備などの地域福祉の充実、児童数の増加に対応した学校の増改築や国際教育・理数教育、オリンピック・パラリンピック教育の充実などの教育環境の整備、急増するインバウンドを踏まえ、にぎわいの拠点として世界に本区の魅力を発信する観光情報センターの開設、築地の“活気とにぎわい”を継承する築地魚河岸の開業などに重点的に取り組みました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成28年度　主要な施策一覧

事　業					新規	決算額（千円）	頁
1 思いやりのある安心できるまちをめざして	○ 生涯をいきいきと暮らすために	＊ 保健医療	(1)	母子健康診査		215,665	6
			(2)	母子保健指導		26,479	6
			(3)	がん検診		476,627	7
			(4)	自殺総合対策推進事業		1,681	7
			(5)	予防接種		3,587	8
		＊ 障害者福祉	(1)	障害児放課後等デイサービス事業		37,744	8
			(2)	障害者就労支援モザイク平板の設置		3,558	9
			(3)	子ども発達支援センター（仮称）等の整備	新規	12,411	9
			(4)	高次脳機能障害者支援事業	新規	334	9
			(5)	重症心身障害児（者）在宅レスパイト事業	新規	1,907	9
		＊ 高齢者福祉	(1)	高年齢者合同就職面接会		108	10
			(2)	高齢者健康づくり事業		29,957	10
			(3)	敬老大会		87,131	11
			(4)	地域見守り事業支援		1,424	11
			(5)	認知症施策の推進		15,251	11
			(6)	高齢者の孤立防止・生きがい推進懇談会		977	12
			(7)	高齢者食事サービス		20,995	12
			(8)	在宅療養支援		19,384	12
			(9)	ミドルステイ・緊急ショートステイ		17,037	13
			(10)	巡回型ホームヘルプサービス		71,817	14
			(11)	高齢者生活援助サービス		16,163	14
			(12)	元気高齢者人材バンク		1,179	14
			(13)	「通いの場」事業	新規	1,469	15
			(14)	月島おとしより相談センター分室の整備・開設	新規	6,277	15
			(15)	湊二丁目認知症高齢者グループホーム等の整備・開設	新規	1,652,685	15
			(16)	勝どき五丁目小規模多機能型居宅介護事業所等の整備・開設	新規	12,145	16
	○ 健やかな子どもを育むために	＊ 子育て支援	(1)	保育定員の拡大等		687,057	17
			(2)	子どもの居場所「プレディ」		340,539	18
			(3)	多子世帯・ひとり親世帯等の保育所・幼稚園保育料負担軽減		－	18
			(4)	認証保育所保育料の補助		159,608	18
			(5)	子ども医療費助成		680,616	19
			(6)	保育支援者雇用に対する補助		8,521	19
			(7)	保育所等における業務効率化推進事業	新規	23,673	19
			(8)	保育士等キャリアアップ事業		136,875	19
			(9)	実費徴収に係る補足給付事業	新規	36	19
			(10)	水谷橋公園内保育所の整備	新規	10,526	20
			(11)	東京駅前子育て支援施設整備の検討	新規	1,998	20
			(12)	アレルギー児対応等補助		37,333	20
	○ 思いやりとふれあいのあるまちのために	＊ 男女共同参画	(1)	ワーク・ライフ・バランス推進企業等の認定		3,733	21

平成28年度　主要な施策一覧

事　業					新規	決算額（千円）	頁
2 うるおいのある安全で快適なまちをめざして	○ 住みやすい環境づくり	＊ 住宅・住環境	(1)	高齢者向け民間賃貸住宅の整備誘導		43,177	22
			(2)	マンション実態調査	新規	13,500	22
		＊ 公園・緑地・水辺	(1)	民間施設の緑化促進		5,780	22
			(2)	水の都プロジェクトの推進		136,274	23
			(3)	街路樹の整備		27,799	24
			(4)	公園・児童遊園の改修		376,078	24
			(5)	地域による公園自主管理活動支援事業		1,367	26
	○ 地球にやさしい環境づくり	＊ 環境保全	(1)	自然エネルギーおよび省エネルギー機器等導入費助成		22,167	27
			(2)	照明灯のLED化		150,690	27
			(3)	「中央区の森」の間伐材を活用したベンチ整備		4,071	27
			(4)	地域クリーンパトロールの展開		36,997	28
		＊ 循環型社会	(1)	リサイクル事業の普及・啓発		2,345	28
			(2)	リサイクルハウス「かざぐるま明石町」の管理運営		21,699	28
			(3)	資源持ち去り防止対策		5,522	29
			(4)	資源再利用（リサイクル）の推進		507,280	29
	○ 都心にふさわしい都市の基盤づくり	＊ 道路・交通	(1)	橋りょう長寿命化修繕工事		316,048	30
			(2)	橋りょうの健全度調査		44,113	30
			(3)	新島橋の架替		1,143,956	31
			(4)	環境にやさしい道路の整備		82,330	31
			(5)	電線共同溝の整備		623,219	32
			(6)	豊海橋の改良	新規	30,186	32
			(7)	観光バス乗降所の整備	新規	13,392	33
			(8)	人にやさしい歩行環境の整備		167,090	33
			(9)	昭和通り銀座歩道橋昇降機の改修		223,663	33
			(10)	歩行者専用橋の整備		1,119,483	34
			(11)	にぎわいのある道路の整備		110,408	34
		＊ 防災・危機管理	(1)	防災拠点運営委員会訓練		9,869	34
			(2)	防災対策優良マンション認定制度		6,262	35
			(3)	防災区民組織に対する資器材供与の充実		14,203	35
			(4)	マンション向け防災体験プログラム		399	35
			(5)	帰宅困難者支援施設運営協議会への支援		4,978	36
			(6)	住宅・建築物の耐震化助成		618,568	37
			(7)	防犯設備整備費助成		25,114	38
			(8)	地域防災フェア	新規	38,621	38
			(9)	防災用ネットワークカメラの設置	新規	14,942	38
			(10)	小学校通学路防犯カメラの設置		8,664	39
		＊ 地域整備	(1)	名橋「日本橋」上空の首都高速道路撤去および日本橋再生に向けたまちづくり		7,954	39
			(2)	築地場外市場地区先行営業施設「築地魚河岸」の開設	新規	－	39
			(3)	まちづくり支援事業（コミュニティ・ファンド）		1,501,231	40
			(4)	市街地再開発事業助成		14,481,115	40

平成28年度　主要な施策一覧

事　業					新規	決算額（千円）	頁
3 にぎわいとふれあいのある躍動するまちをめざして	○ にぎわいと活力のある産業のまちづくり	＊ 商店街振興	(1)	観光商業まつり		44,588	41
			(2)	商店街支援事業補助		142,229	41
			(3)	商店街美化促進事業補助		13,205	42
			(4)	連携型商店街活性化モデル事業	新規	4,831	42
			(5)	商工業観光事業等振興補助		16,458	42
			(6)	共通買物券の発行		579,300	43
		＊ 産業振興	(1)	創業支援		7,381	43
			(2)	産業文化展		33,405	44
			(3)	日本橋問屋街活性化事業支援		5,508	44
			(4)	商工業融資		1,843,935	45
			(5)	若年者合同就職面接会		254	46
			(6)	職業相談・就職ミニ面接会		517	46
		＊ 観光	(1)	まち歩きツアー舟運コース		326	46
			(2)	スマートフォン用観光アプリ		2,721	47
			(3)	観光案内施設事業費補助	新規	24,424	47
			(4)	観光関係講座	新規	1,134	47
			(5)	観光拠点（観光情報センター）の開設		284,599	47
	○ いきいきと学び豊かな個性を育むまちづくり	＊ 学校教育	(1)	学習意欲の向上と学習習慣の定着		6,958	48
			(2)	小学校の学力向上対策		70,288	48
			(3)	中学校の学力向上対策		61,853	49
			(4)	英語教育の推進		73,850	49
			(5)	健康教育の推進		65,237	49
			(6)	国際教育・理数教育の推進		13,524	50
			(7)	特別支援教育への対応		132,671	51
			(8)	心を育てる教育の推進		13,683	52
			(9)	オリンピック・パラリンピック教育の推進		16,113	52
			(10)	教育相談等		57,618	53
			(11)	小学校英語講師の配置	新規	3,525	53
			(12)	早稲田大学と連携した理数教育の推進	新規	299	53
			(13)	学校評価システムの推進		2,094	54
			(14)	ひとり親家庭等の子どもの学習支援事業	新規	2,162	54
			(15)	小学校・幼稚園の改築・増築		8,769,452	54
			(16)	学校の主な改修		275,909	55
		＊ 生涯学習・スポーツ	(1)	スポーツ推進ビジョンの策定		5,746	55
			(2)	アスリートによるスポーツイベントの開催	新規	290	56
			(3)	子どもの得意スポーツ発見事業		1,654	56
			(4)	晴海運動場の代替施設の確保	新規	7,672	56
	○ 文化の香る交流のまちづくり	＊ コミュニティ	(1)	大江戸まつり盆おどり大会		43,035	57
			(2)	雪まつり		13,061	57
			(3)	協働提案事業		1,721	57
			(4)	区民還暦祝い事業		10,711	58
		＊ 文化振興	(1)	中央区まるごとミュージアム		32,662	58
			(2)	まちかど展示館		9,257	59
			(3)	近代建築物調査結果の活用		894	59
		＊ 平和	(1)	平和の都市(まち)の楽しい集い		9,308	60
			(2)	平和展		2,411	60

平成28年度　主要な施策一覧

事　業				新規	決算額（千円）	頁
4 その他の主要な課題への対応と区政改革の推進	○ 新たな課題への対応	(1)	新たな基本構想の策定		16,170	61
		(2)	公共施設等総合管理計画の策定	新規	16,956	61
		(3)	本の森ちゅうおう（仮称）整備計画見直しに伴う八丁堀駅周辺施設の再編	新規	5,918	61
		(4)	「区のおしらせ　中央」の個別配送	新規	135	61
		(5)	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた区民参加の推進		311	62
		(6)	住民票の写しおよび印鑑登録証明書のコンビニ交付の開始	新規	3,457	62
		(7)	東根市友好都市提携25周年記念事業	新規	3,052	63
		(8)	サザランド市姉妹都市提携25周年記念事業	新規	11,783	63
		(9)	家計相談支援事業	新規	3,110	64
		(10)	自転車点検・保険加入の促進	新規	144	64
		(11)	インターネットによる区議会映像の配信	新規	9,982	64
	○ 区施設の改修	(1)	日本橋社会教育会館・日本橋図書館		709,446	65
		(2)	月島社会教育会館晴海分館「アートはるみ」・ふれあい作業所		125,267	65
		(3)	総合スポーツセンター		238,758	65
		(4)	特別養護老人ホーム等「マイホーム新川」		33,102	65
		(5)	リサイクルハウス「かざぐるま箱崎町」		107,710	65
		(6)	月島西仲住宅		31,455	65
		(7)	月島清澄通りまちづくり支援用施設		17,412	66
		(8)	築地場外市場地区まちづくり支援用施設		47,875	66

計　144事業（うち新規34事業）

1　思いやりのある安心できるまちをめざして

○　生涯をいきいきと暮らすために

＊　保健医療

(1)　母子健康診査　　**[決算額　215,665千円]**

ア　妊婦健康診査

母体や胎児の健康を守るため、妊婦健康診査を実施した。平成28年度は新たにＨＩＶ抗体検査および子宮頸がん検診を追加した。

イ　乳幼児健康診査

乳幼児の成長、発達の状態を判断し、健全な育成が図られるよう指導するため、健康診査を実施した。平成28年度は対象児の増加に伴い、1歳6カ月児および3歳児の健康診査の回数を増やした。

	変　更　前	変　更　後
3～4カ月児健康診査	48回	48回
1歳6カ月児健康診査（内科を除く。）	30回	32回
3歳児健康診査	36回	38回

※6～7カ月児、9～10カ月児、1歳6カ月児健康診査(内科)は医療機関に委託して実施

(2)　母子保健指導　　**[決算額　26,479千円]**

ア　新生児等訪問指導

乳幼児家庭の孤立化を防ぎ、母子の状況把握や助言などを行うため、保健師などによる新生児等訪問指導や、健診などで状況が把握できない1歳6カ月児と3歳児がいる子育て家庭の調査と訪問指導を行った。

また、訪問を通じて支援が必要な母子を把握した場合は、子ども家庭支援センターに相談・通告を行うなど必要なサポートにつなげた。

新生児等訪問指導件数　　2,022人

1歳6カ月児の状況把握数　　1,928人

3歳児の状況把握数　　1,625人

イ　パパママ教室（両親学級）

参加者の増加に対応するため、パパママ教室（両親学級）の開催回数を21回から24回に増やした。

参加者数　1,116人

ウ　妊娠初期からの「孤育て予防」のための情報発信

出産や子育てに関する不安の解消を図るために、産前産後の経過に応じた子育て支援情報を携帯端末に配信した。

利用者数	産前（妊婦向け）	551人
	産前（男性向け）	71人
	産後（育児）	681人

(3)　がん検診　［決算額　476,627千円］

がんの早期発見・早期治療を目的として、各種がん検診を実施した。平成28年度は、受診率向上のため、子宮がん・乳がん検診の未受診者への再勧奨を行ったほか、大腸がん検診の精密検査の未受診者への受診勧奨と意識調査および大腸がん検診精密検査の結果把握を行い、受診率向上とがん検診の精度管理向上を図った。

受診者数	胃がん検診	10,253人
	子宮がん検診	8,021人
	肺疾患（肺がん等）検診	17,293人
	大腸がん検診	16,070人
	乳がん検診	5,901人
	前立腺がん検診	4,865人

(4)　自殺総合対策推進事業　［決算額　1,681千円］

ア　健康福祉まつり・健康増進フェア

こころの健康づくり（うつ病・自殺予防）のコーナーを設置し、ストレス解消方法やうつおよび自殺に対する正しい知識を周知した。

イ　東京都自殺対策強化月間（9月・3月）

懸垂幕などの掲出（中央区保健所）、パネル展示（区施設4カ所）、街頭キャンペーン、ポスター掲示（区施設）を行い、自殺に対する正しい理解の推進と、要因となるこころの悩み・多重債務・労働問題などの各種相談窓口を周知した。

ウ　ゲートキーパー養成講座

悩んでいる人に気づき、必要な支援につなげ、見守る人を養成するゲートキーパー養成講座を実施した。

対 象 者	区民、在勤者、区職員など
開 催 数	3回
参加者数	78人

エ　中央区自殺対策協議会

区における自殺対策の推進、自殺対策に関する関係機関などの連携に関する事項などを協議・検討するため、区、医療機関、関係機関などで構成する「中央区自殺対策協議会」を開催した。

開 催 数　　2回（7月、2月）

(5)　予防接種　　**［決算額　3,587千円］**

東京23区外の医療機関において子どもの定期予防接種を受けた方に対して、予防接種費用の助成を実施した。

助成件数　　延93件

＊　障害者福祉

(1)　障害児放課後等デイサービス事業　　**［決算額　37,744千円］**

障害児の放課後や夏休みなどにおける居場所の確保を図るため、児童福祉法に基づく放課後等デイサービスを実施した。

対 象 者	区内在住の小学生から高校生までの障害児	
利用定員	1日15人	
場　　所	福祉センター2階　部屋2室	
利 用 料	無料（昼食代などについては実費を徴収）	
実 施 日	月曜日から土曜日（祝日、年末年始を除く。）	
利用時間	学校休業日	
	夏休み等長期休業日	午前9時～午後6時
	開校記念日等休業日	午前9時～午後7時
	その他平日	放 課 後～午後7時
	土曜日	午前9時～午後6時
利用状況	登録者数　46人	
	開設日数　293日	
	利用者数　延2,710人	

(2)　障害者就労支援モザイク平板の設置　　［決算額　3,558千円］

福祉センター利用者の作業訓練の一環として、建設廃材を活用して制作したモザイク平板を区施設の壁面などに設置することにより、障害のある方の自立を支援するとともに、うるおいのあるまちづくりを推進した。

設置場所　　月島三丁目児童遊園

施工面積　　約20㎡

(3)　子ども発達支援センター(仮称)等の整備　　［決算額　12,411千円］

発達障害など発達や育ちに支援が必要な子どもとその家族に対して、適切な相談や支援を行う地域の療育の拠点として子ども発達支援センター(仮称)を整備するとともに、福祉センターにおける重度身体障害者の支援体制の充実を図るための改修工事に係る設計等を行った。

工事期間　平成29年7月～平成30年6月（予定）

(4)　高次脳機能障害者支援事業　　［決算額　334千円］

交通事故や病気などにより脳に損傷を受け、その後遺症として記憶・注意・遂行機能・社会的行動といった認知機能が低下した状態にある高次脳機能障害者に対する支援や理解の促進を図るため、各種事業を実施した。

高次脳機能障害者支援理解促進講演会の実施　　参加者数　47人

高次脳機能障害者交流会・相談（年3回）の実施　　延参加者数　31人

高次脳機能障害者支援パンフレットの作成

連絡会（年1回）の実施　　参加事業所数　21事業所

(5)　重症心身障害児(者)在宅レスパイト事業　　［決算額　1,907千円］

日常的に医療的ケアを必要とする在宅の重症心身障害児（者）の家庭に対し、訪問看護師を派遣し一定時間ケアを代替することにより、当該障害児（者）の健康の保持と家族の介護負担の軽減を図った。

対　　象　　医療的ケアが必要な在宅の重症心身障害児（者）を介護する家族

利用料金　　所得に応じた利用者負担あり

利用条件　　月2回を上限とし、1回につき2時間～4時間まで

利用回数　　延72回

＊　高齢者福祉

(1)　高年齢者合同就職面接会　　［決算額　108千円］

おおむね55歳以上の高年齢者の就労機会を拡大するため、求職中の高年齢者と求人を希望する区内を中心とした企業との合同就職面接会を「中央区地域雇用問題連絡会議」（区・社会福祉法人中央区社会福祉協議会・公益社団法人中央区シルバー人材センターほか）主催により開催した。

開 催 日　　平成29年2月28日
会　　場　　区役所大会議室
参加企業　　15社
来場者数　　103人

(2)　高齢者健康づくり事業　　［決算額　29,957千円］

高齢者が生涯にわたり健康であり続けることができるよう、身体機能の維持向上など介護予防に資する健康づくりを推進した。

ア　はつらつ健康教室・さわやか健康教室

生活機能に低下が認められる方を対象に「はつらつ健康教室」を、低下が認められない方を対象に「さわやか健康教室」を実施した。

はつらつ健康教室参加者数　　延2,481人（計288回）
さわやか健康教室参加者数　　延1,531人（計204回）

イ　ゆうゆう講座

60歳以上の高齢者で要支援・要介護認定を受けていない方を対象に、楽しみながら自然と健康づくりにつながる講座を実施した。

参加者数　　延847人（計24回）

ウ　訪問健康づくり

通所が困難と思われる方を対象に、保健師が居宅を訪問し、生活機能向上に必要な指導・助言を行った。

事業利用呼びかけ電話など　　288回
訪問件数　　20回

エ　さわやか体操リーダーの育成

おおむね50歳以上の区民の方を対象に、高齢者向け体操教室の指導などを行うさわやか体操リーダーを育成するとともに、リーダーによる体操教室を拡大した。

リーダー登録者　　17人
育成講座受講者　　8人（修了者 8人）
リーダーの体操教室参加者数　　延1,909人（計180回）

(3)　敬老大会　　［決算額　87,131千円］

「敬老の日」の記念行事の一つとして、70歳以上の高齢者を区内の劇場に招待した。

会　　場　　歌舞伎座

参加者数　　7,893人

開催日数　　5日

(4)　地域見守り事業支援　　［決算額　1,424千円］

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の方などが、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、おとしより相談センターを中心とした地域見守りネットワークの拡大を図るため、あんしん協力員による声かけや見守り活動を行う地域団体への支援を行った。

見守り対象者数　　435人

見守り団体数　　17団体

あんしん協力員数　　159人

(5)　認知症施策の推進　　［決算額　15,251千円］

ア　認知症ケアパスの活用

在宅療養支援協議会における協議を踏まえ認知症ケアパスを作成し高齢者への送付およびおとしより相談センターの講座等における積極的な活用により、認知症についての正しい知識の啓発を図った。

送付件数　　17,916件

イ　認知症支援コーディネーター、認知症地域支援推進員の配置

認知症支援コーディネーター1人（介護保険課）および認知症地域支援推進員を3人（各おとしより相談センター）配置し、医療機関との連絡調整を図りながら認知症の早期発見・早期診断に向けた相談や戸別訪問を行った。

相談件数　　3,777件（訪問件数　979件）

(6)　高齢者の孤立防止・生きがい推進懇談会　　［決算額　977千円］

高齢者の孤立化・閉じこもりなどへの懸念が広がる中、高齢者が社会的に孤立せず、生きがいをもって生活できるよう、平成27年度に引き続き中央区高齢者孤立防止・生きがい推進懇談会を開催し、地域団体や関係機関の委員の方々と支援策などの検討を進め、その結果を報告書としてまとめた。

懇談会　　2回

(7)　高齢者食事サービス　　［決算額　20,995千円］

食事の買い物や調理が困難な70歳以上（要支援・要介護認定を受けた方は65歳以上）のひとり暮らし高齢者・高齢者のみの世帯・日中独居の高齢者に安否確認を兼ねて食事（昼・夕食）を配達した。

総配食数　　88,586食（うちエネルギー調整食、たんぱく質調整食　4,997食）

利用者数　　458人

(8)　在宅療養支援　　［決算額　19,384千円］

ア　在宅療養支援病床の確保

要介護高齢者などが地域で安心して在宅療養を続けられるよう、病状の急変時に速やかな受け入れが可能な病床を確保した。

病 床 数　　3床（3カ所）

入院期間　　14日以内

利用日数　　延444日

イ　在宅療養支援協議会の運営

経管栄養などの医療的ケアを必要とする要介護者を在宅で介護する家族の負担を軽減するとともに、可能な限り在宅での生活を継続できるよう、学識経験者、医療関係団体、主任介護支援専門員などから構成される「中央区在宅療養支援協議会」において、支援のための体制づくりや方策を検討した。

実施回数　　2回

協議内容　　在宅療養支援研修について　など

ウ　在宅療養支援訪問看護

要介護者などが在宅で療養中の場合や、病院などを退院・退所または外泊する場合に、看護師などが居宅を訪問して療養上の相談や医療的ケアの指導などを行う訪問看護を行った。

派遣回数　　延14回

利用者数　　9人

エ　在宅療養支援研修

医療機関および介護サービス事業所を対象に、在宅療養支援に必要な知識や技術の習得・向上および多職種連携の強化を図るための研修を、また区民を対象に、在宅療養の意識啓発と情報提供を図るための研修を実施した。

医療機関および介護サービス事業所向け　　1回

区民向け　　2回

(9)　ミドルステイ・緊急ショートステイ　　［決算額　17,037千円］

ア　特別養護老人ホーム入所申込者の在宅介護を支援するため、連続して1～3カ月（年間上限3カ月）宿泊利用できるミドルステイを実施した。

利用施設　　サニーパレス京橋（民間介護付有料老人ホーム）

確保床数　　2床

対 象 者　　要介護4または5で区内特別養護老人ホームの入所申込者

利用者数　　8人

利用日数　　延486日

イ　介護者が急病や著しい心身の疲労などで介護が困難な場合に、緊急に短期入所サービスを民間委託により実施することで、要介護者家族の在宅介護の支援を図った。

利用施設　　サニーパレス京橋（民間介護付有料老人ホーム）

確保床数　　3床（うち1床は医療ニーズの高い方対応枠）

対 象 者　　要介護または要支援の在宅療養者

利用者数　　26人（うち5人は医療ニーズの高い方）

利用日数　　延380日（うち89日は医療ニーズの高い方）

(10)　巡回型ホームヘルプサービス　　[決算額　71,817千円]

ア　24時間対応型

区が介護保険の訪問介護事業所として指定を受け、要介護者などがいる家庭に対し24時間巡回型ホームヘルプサービスを実施した。

利用者数　　延325人（高齢者　277人、障害者　48人）

イ　ナイトサポート

区が介護保険の夜間対応型訪問介護事業所として指定を受け、要介護者がいる家庭を対象に夜間における定期巡回および緊急の要請に応じた相談・アドバイスを行うとともに、必要に応じて介護福祉士などを利用者宅へ派遣した。

利用者数　　延928人

(11)　高齢者生活援助サービス　　[決算額　16,163千円]

要支援・要介護と認定された高齢者に対して、生活援助および院内介助のため、ヘルパーを派遣した。

生活援助派遣世帯数　　561世帯（派遣回数　延5,955回）

院内介助派遣世帯数　　240世帯（派遣回数　延1,972回）

(12)　元気高齢者人材バンク　　[決算額　1,179千円]

元気高齢者の社会参加活動を支援するため、ボランティア活動などのコーディネート、技能お披露目会やＰＲ会、児童館との多世代交流の実施、ホームページによる情報発信などを行った。

登録者数　　72人

活動日数　　延179日

活動者数　　延493人

技能お披露目会開催回数　　8回

ＰＲ会開催回数　　2回

(13)　「通いの場」事業　［決算額　1,469千円］

高齢者の交流や高齢者を支え合う地域づくりを推進するため、住民が主体的に運営する「通いの場」のモデル事業を区内3カ所で実施するとともに、平成29年度からの本格実施に向けて「通いの場」の立ち上げ・運営などに関する支援のあり方についての検討およびボランティアの育成を行った。

実施回数	108回（36回×3カ所）
参加者数	延1,209人
ボランティア数	延　481人

(14)　月島おとしより相談センター分室の整備・開設　［決算額　6,277千円］

高齢者の総合相談体制を強化するため、「月島おとしより相談センター」の分室を勝どき五丁目に開設した。

名　　称	勝どきおとしより相談センター
所 在 地	勝どき五丁目1番17号　勝どきザ・リバーフロント1階
窓口開設時間	月～土曜日 9～18時（年末年始、祝日は除く。ただし時間外においてはコールセンターの連絡が可能）
相談件数	603件
開 設 日	平成28年12月26日

(15)　湊二丁目認知症高齢者グループホーム等の整備･開設　［決算額　1,652,685千円］

湊二丁目の市街地再開発事業区域内に、通いによるサービスを中心に訪問や宿泊を組み合わせながら日常生活上の支援等を行う小規模多機能型居宅介護事業所とともに、認知症の方が適切な介護のもと共同生活を送りながら身体介護や機能訓練等を受けることができる、認知症高齢者グループホームを整備した。

名　　称	優っくり村中央湊
所 在 地	中央区湊二丁目16番23号
施設概要	認知症高齢者グループホーム （定員18名　1ユニット9名×2ユニット） 小規模多機能型居宅介護事業所（登録定員25名）
開 設 日	平成29年1月5日
運営事業者	社会福祉法人　奉優会

(16)　勝どき五丁目小規模多機能型居宅介護事業所等の整備･開設　　［決算額　12,145千円］

勝どき五丁目の市街地再開発事業区域内に、小規模多機能型居宅介護事業所およびサービス付き高齢者向け住宅を整備した。

名　　称	ココファン勝どき
所 在 地	中央区勝どき五丁目3番2号
施設概要	小規模多機能型居宅介護事業所（登録定員29名） サービス付き高齢者向け住宅（居室数34戸）
開 設 日	平成29年3月1日
運営事業者	株式会社　学研ココファン

○　健やかな子どもを育むために

＊　子育て支援

(1)　保育定員の拡大等　　［決算額　687,057千円］

保育所の待機児童の解消を図るため、私立認可保育所を開設する事業者に対して開設準備経費の一部の補助を行い、認可保育所5カ所の開設を支援した。

また、空いている保育室を活用し、臨時的に1歳児保育を行う期間限定型保育事業を実施する事業者に対して運営費の一部を補助した。

平成29年4月1日開設の保育所　5カ所（定員349名拡大）

施　設　名	あい保育園新川	日生新川保育園ひびき
運営事業者	株式会社アイグラン	株式会社日本生科学研究所
所　在　地	中央区新川1丁目26番9号 新川イワデビル1･2階	中央区新川2丁目30番3号 ＮＭビル1～4階
定　　員	80人（0～5歳児）	80人（0～5歳児）

施　設　名	にんぎょうちょうさくらさくほいくえん	かふう保育園日本橋
運営事業者	株式会社ブロッサム	社会福祉法人幸福義会
所　在　地	中央区日本橋富沢町2番6号	中央区日本橋富沢町10番18号 2階
定　　員	74人（0～5歳児）	70人（0～5歳児）

施　設　名	ベネッセ勝どき保育園
運営事業者	株式会社ベネッセスタイルケア
所　在　地	中央区勝どき5丁目1番17号 勝どきザ・リバーフロント2階
定　　員	45人（1～5歳児）

※認可保育所数および定員

平成28年4月1日　　保育所数　　41カ所、定員　3,659人

平成29年4月1日　　（上記5カ所および定員変更後）

保育所数　　46カ所、定員　4,050人（前年同日比391人増）

※期間限定型保育事業実施園

ブライト保育園東京入船、あい保育園日本橋、あい保育園水天宮、モニカ人形町園、コビープリスクールはこざき、テンダーラビング保育園東日本橋、キッズハウス浜町公園、つきのみさきさくらさくほいくえん

(2)　子どもの居場所「プレディ」　［決算額　340,539千円］

子どもの健全育成を図るため、放課後などに子どもが安全に安心して過ごせる子どもの居場所「プレディ」を実施した。

平成28年度は、建物の増改築工事に合わせて、豊海・日本橋・月島第三小学校のプレディ専用ルームを新しくするとともに、有馬小学校のプレディ専用ルームの拡張を行い、環境の整備と充実を図った。

ア　開 設 校

中央小学校、明石小学校、京橋築地小学校、明正小学校、日本橋小学校、有馬小学校、久松小学校、佃島小学校、月島第一小学校、月島第二小学校、月島第三小学校、豊海小学校

イ　対　　象

区立小学校在籍児童および区内に住所を有する小学校児童

ウ　利用人数

延164,239人（午後5時まで 延134,251人、午後6時まで 延22,961人、
午後6時以降 延7,027人）

(3)　多子世帯･ひとり親世帯等の保育所･幼稚園保育料負担軽減　［決算額　－　千円］

一定の所得未満の多子世帯およびひとり親世帯等の保育料の負担の軽減を図るため、従来は第1子の年齢に上限を設けた上で、第2子を半額、第3子以降を無料としていたが、一定の所得未満の多子世帯については、第1子の年齢の上限をなくし、第2子を半額、第3子以降を無料とした。また、一定の所得未満のひとり親世帯等については、第1子の年齢の上限をなくした上で、第1子を半額、第2子以降を無料とした。

【多子世帯の負担軽減に係る第１子の年齢の上限】

施設の種類	平成27年度まで	平成28年度以降
幼稚園	小学校3年生まで	一定の所得未満世帯について年齢制限を撤廃
保育所	未就学児まで	

(4)　認証保育所保育料の補助　［決算額　159,608千円］

認証保育所に子どもを預けている保護者に対し、施設へ支払う保育料と認可保育園保育料との差額に応じて、10,000円から50,000円までの助成を行った。

助成件数　　延5,224件

(5)　子ども医療費助成　　[決算額　680,616千円]

乳幼児および小・中学生の医療費（通院・入院）を助成した。

ア　医療証発行状況（平成29年3月31日現在）

乳幼児医療証（対象：乳幼児）　11,336人

子ども医療証（対象：小・中学生）　8,611人

イ　助成件数

乳幼児医療　230,987件

子ども医療　131,735件

(6)　保育支援者雇用に対する補助　　[決算額　8,521千円]

保育士の就業継続および離職防止を図るため、私立認可保育所において保育支援者を雇用した事業者に対し補助を行った。

補助件数　10カ所

(7)　保育所等における業務効率化推進事業　　[決算額　23,673千円]

保育士業務の負担軽減を図るための保育業務支援システムの導入や、事故防止の体制強化のためビデオカメラを導入した事業者に対し補助を行った。

補助件数　保育業務支援システム　24件

ビデオカメラ　8件

(8)　保育士等キャリアアップ事業　　[決算額　136,875千円]

保育士等が保育の専門性を高めながら、やりがいを持って長く働くことができるよう、キャリアアップ（賃金改善）に向けた取組を行っている事業者に対し補助を行った。

補助対象施設数　39カ所

(9)　実費徴収に係る補足給付事業　　[決算額　36千円]

保育所･幼稚園などに通う子どもの保護者が支払う日用品・文房具・教材費・行事への参加費用などの一部を補助することで、保護者の経済的な負担を軽減した。

補助対象者　生活保護世帯および住民税非課税世帯

受給者数　37人

(10)　水谷橋公園内保育所の整備　［決算額　10,526千円］

待機児童の解消を図るため、立体都市公園制度を活用し、水谷橋公園（中央区銀座一丁目12番6号）内に保育所を整備する。平成28年度は都市計画変更の検討、埋蔵文化財試掘調査、土地の測量、基本計画図の作成を行った。

(11)　東京駅前子育て支援施設整備の検討　［決算額　1,998千円］

八重洲二丁目北地区第一種市街地開発事業において平成34年度に竣工が予定されているビル内に子育て支援施設の整備を検討するため、調査を行った。

(12)　アレルギー児対応等補助　［決算額　37,333千円］

アレルギー児対応や育児困難者家庭への支援など、多様なニーズに対応した取組を行っている事業者に対し補助を行った。

補助対象施設	アレルギー児対応	36カ所
	育児困難家庭への支援	1カ所

○　思いやりとふれあいのあるまちのために

＊　男女共同参画

(1)　ワーク・ライフ・バランス推進企業等の認定　　**［決算額　3,733千円］**

ワーク・ライフ・バランスを推進する中小企業等を認定し、その取組を広く紹介するとともに、アドバイザーを派遣し、ワーク・ライフ・バランスの取組を支援するほか、セミナーの開催により普及啓発を図った。

既認定企業9社、新規2社、更新13社（更新は2年毎）、合計24社

アドバイザー派遣3社

セミナー開催　　平成28年7月14日（参加者58人）、9月12日（参加者88人）

２　うるおいのある安全で快適なまちをめざして

○　住みやすい環境づくり

＊　住宅・住環境

(1)　高齢者向け民間賃貸住宅の整備誘導　　**［決算額　43,177千円］**

高齢者の居住安定の確保を図るため、民間事業者による高齢者向け優良賃貸住宅の整備や家賃の減額に要する費用の一部を助成し、質の高い良好な高齢者向け住宅の供給を促進した。

建設費助成　　1棟　34戸　　7,798千円
（サービス付き高齢者向け住宅　平成29年3月入居）

家賃減額助成　　5棟　93戸　　35,379千円
（既存4棟　73戸、新築1棟　20戸）

(2)　マンション実態調査　　**［決算額　13,500千円］**

マンション管理組合等の活動に対する支援策の充実を図るため区内マンションの現状を把握する実態調査を実施し、対象とする分譲マンション866棟中、579棟から回答（回収率 66.9%）を得た。

調査票をもとに分譲マンションの建物棟数や築年数など基礎的な情報整理を行うとともに、管理組合の活動状況や管理上の課題、長期的な修繕計画、耐震化への取組および防災対策の状況を把握した。

＊　公園・緑地・水辺

(1)　民間施設の緑化促進　　**［決算額　5,780千円］**

緑豊かな都市景観の創出やヒートアイランド現象の緩和などを目的として、接道部、地上部および建物の屋上などを一定の割合で緑化するよう指導するとともに、緑化に要する経費の一部を助成した。

また、「花と苗木の即売会」を開催し、緑化相談や屋上・ベランダ緑化の見本展示などを通じ、緑化の普及・啓発を図った。

ア　民間施設の緑化助成

緑化助成　　12件　5,618千円

樹木等保護育成助成　　4件　　100千円

イ　花と苗木の即売会

開催4回

（春：あかつき公園、月島第一児童公園　　秋：浜町公園、月島第一児童公園）

(2)　水の都プロジェクトの推進　　［決算額　136,274千円］

貴重な水辺を区民の憩いの場として活用するため、利便性・安全性に配慮したうるおいのある水辺空間整備のための設計および工事を行った。

ア　月島川みどりの散歩道の改修

整備箇所　　中央区勝どき1丁目側

整備内容　　階段・スロープ設置工　1式、ＬＥＤ照明　9基、ベンチ　14基

舗装工　1式　ほか

高木植栽　イロハモミジ・サルスベリほか　23本

低木植栽　アジサイ・ドウダンツツジほか　1,674株

地被植栽　シャガ・テイカカズラほか　4,443株

完　　成　　平成29年3月

イ　勝どき六丁目広場の整備

整備箇所　　中央区勝どき6丁目2番先

整備内容　　舗装工　1式、ＬＥＤ照明　2基、ベンチ　5基、遊具設置工　2基ほか

高木植栽　オオシマザクラ・クスノキほか　13本

低木植栽　ヒラドツツジ・シャリンバイほか　276株

地被植栽　ビンカマジョール・ヘデラほか　900株、張芝工　208㎡

完　　成　　平成29年3月

ウ　朝潮運河護岸上部修景の修正設計

設計箇所　　朝潮大橋～朝潮橋（月島2丁目側）

委託内容　　修正設計

完　　了　　平成29年3月

エ　朝潮運河護岸上部修景の基本設計

設計箇所　　朝潮橋～晴月橋（月島4丁目側）

委託内容　　基本設計

完　　了　　平成29年2月

オ　新島橋取付デッキの詳細設計

設計箇所　　中央区勝どき5丁目2番先

委託内容　　詳細設計

完　　了　　平成29年3月

(3)　街路樹の整備　［決算額　27,799千円］

道路整備などにあわせて、地域の意向を踏まえた街路樹の新規植栽を行うなど、緑の拡充を図った。

ア　人にやさしい歩行環境の整備（新規植栽）

整備箇所　　中央区入船2丁目10番先～湊1丁目3番先

高木植栽　　ヤマボウシ　15本

整備箇所　　中央区築地2丁目13番先～14番先

高木植栽　　ヤマボウシ　17本

イ　道路の改修（新規植栽、樹種変更）

整備箇所　　中央区湊2丁目9番先～12番先

高木植栽　　ヤマボウシ　5本

整備箇所　　中央区湊1丁目11番先～12番先

高木植栽　　ハナミズキ　6本　　ソヨゴ　2本

ウ　道路の改修（樹種変更）

整備箇所　　中央区築地6丁目16番先～19番先

高木植栽　　サルスベリ　15本

エ　道路の改修（新規植栽）

整備箇所　　中央区勝どき2丁目1番先～3番先

高木植栽　　ハナミズキ　21本

(4)　公園・児童遊園の改修　［決算額　376,078千円］

区民のレクリエーションや憩いの場などの充実を図るため、公園・児童遊園の設計・改修を行った。

ア　築地川公園、佃公園（佃堀東側）、桜橋南東児童遊園の設計

設計箇所　　中央区明石町10番2号　ほか2カ所

設計内容　　基本設計・詳細設計

完　　了　　平成29年3月

イ　豊海運動公園の改修

整備箇所　　中央区豊海町3番19号

施工面積　　16,500㎡

整備内容　　テニスコート整備　1式、防潮堤整備　1式、ＬＥＤ照明　4基

完　　成　　平成28年8月

ウ　越前堀児童公園の改修

整備箇所　　中央区新川1丁目12番1号

施工面積　　3,060㎡

整備内容　　ＬＥＤ照明　10基、ブランコ　1基、造形遊具　1基、
じゃぶじゃぶ池　1箇所、ベンチ　9基、パーゴラ　1基、
園路舗装工　1式ほか
中低木植栽　サツキツツジ・ジンチョウゲほか　138株
地被植栽　　フイリヤブラン・フッキソウほか　2,380株

完　　成　　平成29年3月

エ　久松児童公園の改修

整備箇所　　中央区日本橋富沢町16番6号

施工面積　　1,060㎡

整備内容　　縁台デッキ　4基、プランター　1基、園路舗装工　1式ほか
中低木植栽　サツキツツジ・ドウダンツツジほか　439株
地被植栽　　シャガ・ツワブキほか　595株

完　　成　　平成29年3月

オ　佃公園（佃堀西側）の改修

整備箇所　　中央区佃1丁目11番4号

施工面積　　1,408㎡

整備内容　　しゅんせつ工　1式、展望デッキ　1式ほか
高木植栽　オオシマザクラ　1本
中低木植栽　ヨシ移植　1式

完　　成　　平成29年7月

カ　左衛門橋南東児童遊園の改修

整備箇所　　中央区日本橋馬喰町2丁目7番16号

施工面積　　113㎡

整備内容　　ＬＥＤ照明　1基、スイング遊具　1基、スツール　1基、
プランター　4基、園路舗装工　1式ほか
中低木植栽　コブシ・オオムラサキツツジほか　139株
地被植栽　　バーベナ　24株

完　　成　　平成28年7月

(5)　地域による公園自主管理活動支援事業　　［決算額　1,367千円］

公園への愛着心を育むとともに地域コミュニティの推進を図るため、公園の清掃や芝生の管理、利用者へのマナー指導など、町会・自治会等地域団体による公園の自主管理活動の支援を行った。

活動助成団体数　　4団体

自主管理公園　　箱崎公園、石川島公園、黎明橋公園、左衛門橋南東児童遊園

○　地球にやさしい環境づくり

＊　環境保全

(1)　自然エネルギーおよび省エネルギー機器等導入費助成　　［決算額　22,167千円］

地球温暖化対策として、自然エネルギー・省エネルギー機器などの普及を促進するため、区内の住宅および事業所の機器導入に対して費用の助成を行った。

助成実績

・住宅用	燃料電池給湯器（エネファーム）	5件
	高反射率塗料等	10件
・共同住宅共用部用	ＬＥＤランプ・ＬＥＤ誘導灯器具	38件
	高反射率塗料等	2件
・事業所用	エアコンディショナー	35件
	ＬＥＤランプ・ＬＥＤ誘導灯器具	28件
	高反射率塗料等	2件
	その他省エネルギー機器	1件

(2)　照明灯のＬＥＤ化　　［決算額　150,690千円］

地球温暖化対策の一環として、環境に配慮したＬＥＤランプを公園灯、街路灯および区施設に導入した。

公園灯	30基
街路灯	565基
区施設照明灯	
本　庁　舎	70基
リサイクルハウス　「かざぐるま箱崎町」	236基

(3)　「中央区の森」の間伐材を活用したベンチ整備　　［決算額　4,071千円］

「中央区の森」の間伐材を使用したベンチを製作し、公園に設置した。

ベンチ整備数　10基（佃公園、晴海第一公園）

(4)　地域クリーンパトロールの展開　　［決算額　36,997千円］

歩きたばこやポイ捨てを防止するため、主要交差点や駅周辺を中心とした区内全域において巡回指導を行った。また、歩きたばこが多い交差点を中心に、町会や事業所などと連携して街頭キャンペーンを実施した。

巡回指導実施日　　毎日（年末年始を除く。）　午前7時～午後7時
巡回体制　　2人1班の7班体制
街頭キャンペーン　　築地4丁目交差点ほか7カ所

＊　循環型社会

(1)　リサイクル事業の普及・啓発　　［決算額　2,345千円］

3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進をはじめ、環境問題全般について、子どもから大人まで楽しみながら学ぶ「エコまつり」とフリーマーケットを同時開催した。エコまつりでは、区内の小・中学校などから排出された生ごみの堆肥により栽培した野菜（キャベツ）などの販売を行った。

また、地域団体が主催するフリーマーケットの開催を支援した。

ア　エコまつり

実 施 日　　平成28年6月5日
会　　場　　あかつき公園
来場者数　　約2,200人
実施内容　　リサイクル自転車の販売、「中央区の森」の間伐材を活用したワークショップなど全23ブース

イ　フリーマーケット

（区　主　催）会　場　　あかつき公園（エコまつりと同時開催、45店舗出店）
（地域団体主催）会　場　　月島第二児童公園（平成28年4月23日開催、93店舗出店）
あかつき公園（平成28年10月2日開催、78店舗出店）

(2)　リサイクルハウス「かざぐるま明石町」の管理運営　　［決算額　21,699千円］

リサイクルハウス「かざぐるま明石町」の不用品販売の利用者および出品数の増加に対応するため、フロアのレイアウト変更を行った。2階を展示・購入専用フロアにするとともに、3階を出品の受付・精算場所として整備し、利用者の利便性向上を図った。

(3)　資源持ち去り防止対策　　［決算額　5,522千円］

ア　資源持ち去り防止パトロールの実施

区民が安心して資源物を排出できる環境を確保するため、資源持ち去り防止パトロールを実施した。

パトロール実施日　　月曜日～土曜日（年末年始を除く。）

イ　びん・缶コンテナへの警告文の表示

警告文を表示したびん・缶用コンテナを製作し、集積所へ配置した。

びん・缶用コンテナ製作数　　2,000個

ウ　新聞回収袋の配布

区へ排出したことを明示した新聞回収袋を区役所、中央清掃事務所、日本橋・月島特別出張所、京橋・日本橋・月島図書館で配布した。

新聞回収袋作成枚数　　34,000枚

(4)　資源再利用（リサイクル）の推進　　［決算額　507,280千円］

ア　集団回収の支援

地域のリサイクル活動を推進するため、リサイクル活動団体に対する助成を行った。

登録団体数　　289団体

回収実績　　4,683,016kg

イ　拠点回収

公共施設において飲料用紙パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、布類、小型家電の回収を行ったほか、毎週土曜日に全小学校、銀座中学校および日本橋中学校で飲料用紙パック、食品用発泡スチロールトレイ、廃食用油、布類、蛍光管、乾電池、小型家電、体温計・血圧計・温度計（水銀式のもの）の回収を行った。

回収実績　　79,966kg（うち小型家電　621.0kg）

ウ　集積所回収

集積所で紙類、びん、缶、スプレー缶、カセットコンロ用ガスボンベ、ペットボトル、金属製のなべ・やかん・フライパン、プラスチック製容器包装の回収を行った。

回収実績　　7,157,470kg

○　都心にふさわしい都市の基盤づくり

＊　道路・交通

(1)　橋りょう長寿命化修繕工事　　**［決算額　316,048千円］**

橋りょうの安全性の確保や長寿命化を図るため、「中央区橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、橋りょうの修繕工事および補修設計を行った。

ア　修繕工事

・采女橋

所 在 地　　中央区築地5丁目1番先～銀座5丁目15番先

実施内容　　床版補修工

・祝橋

所 在 地　　中央区築地1丁目12番先～銀座3丁目15番先

実施内容　　床版補修工

・湊橋

所 在 地　　中央区日本橋箱崎町1番先～新川1丁目1番先

実施内容　　床版補修工、橋面防水工、舗装工

・鎧橋

所 在 地　　中央区日本橋小網町8番先～日本橋兜町1番先

実施内容　　ひび割れ補修工

・西河岸橋

所 在 地　　中央区日本橋室町1丁目1番先～八重洲1丁目1番先

実施内容　　ひび割れ補修工

イ　補修設計

・千代橋

(2)　橋りょうの健全度調査　　**［決算額　44,113千円］**

橋りょうの安全性確保を図るための定期的な調査として、老朽度や交通量調査などの健全度調査を行った。

調査橋りょう　新富橋、新金橋、弾正橋、柳橋、浜前橋、西仲橋、佃小橋、朝潮小橋、さざなみ歩道橋、ふれあい歩道橋、なかよし歩道橋、久松歩道橋

調 査 内 容　現地踏査、外観目視調査、打音調査、交通量調査

(3)　新島橋の架替　　［決算額　1,143,956千円］

既設橋の上部および下部を撤去した。

新橋概要

所 在 地　　中央区勝どき4丁目13番先～勝どき5丁目2番先

規　　模　　橋長 48.3m、幅員 36.0m～41.0m

完成予定　　平成32年3月

(4)　環境にやさしい道路の整備　　［決算額　82,330千円］

道路交通による騒音の抑制や雨水の地中への浸透、ヒートアイランド現象の緩和などを図るため、環境にやさしい道路整備を行った。

ア　低騒音舗装

中央区日本橋本町1丁目9番先～日本橋小網町16番先

整備延長　250.0m　　車道舗装　3,691.0㎡

イ　遮熱性舗装

中央区八丁堀1丁目6番先～八丁堀2丁目23番先

整備延長　110.0m　　車道舗装　1,800.0㎡

ウ　透水性舗装

・中央区銀座8丁目15番先

整備延長　110.0m　　車道舗装　64.0㎡

・中央区築地2丁目14番先～15番先

整備延長　100.0m　　車道舗装　313.0㎡

(5)　電線共同溝の整備　　［決算額　623,219千円］

災害に強い都市基盤の整備や安全で円滑な道路交通の確保、都市景観の向上を図るため、電線共同溝の整備を行った。

ア　整備地区

・中央区日本橋茅場町1丁目8番先～日本橋茅場町2丁目10番先

実施内容　　本体整備、引込・連系管路工事

整備延長　　400m

・中央区日本橋堀留町2丁目3番先～日本橋富沢町9番先

実施内容　　本体整備、引込・連系管路工事

整備延長　　380m

・中央区日本橋富沢町10番先～日本橋久松町13番先

実施内容　　本体整備、移設補償

整備延長　　420m

・中央区湊2丁目9番先～12番先

実施内容　　引込・連系管路工事

整備延長　　120m

イ　設　計

・中央区日本橋茅場町1丁目8番先～日本橋茅場町2丁目10番先

実施内容　　引込・連系管路設計

・中央区日本橋茅場町3丁目4番先～八丁堀1丁目10番先

実施内容　　詳細設計、埋設物調査

・中央区日本橋本町2丁目6番先～日本橋堀留町1丁目9番先

実施内容　　詳細設計、埋設物調査

・中央区八丁堀2丁目14番先～八丁堀3丁目18番先

実施内容　　予備設計

(6)　豊海橋の改良　　［決算額　30,186千円］

豊海橋の老朽化に伴い、上部構造や橋台の改良工事を行うための設計を行った。

所 在 地　　中央区日本橋箱崎町19番先～新川1丁目19番先

規　　模　　橋長　　46.2m

幅員　　8m

完成予定　　平成31年5月

(7)　観光バス乗降所の整備　　［決算額　13,392千円］

月島地区における観光バスの路上駐車の抑制を図り、円滑な道路交通に資するため、観光バスの乗降所整備を行った。

(8)　人にやさしい歩行環境の整備　　［決算額　167,090千円］

高齢者や障害者を含むすべての人が、安全・安心・快適に利用できるように、歩道の拡幅やバリアフリー化（歩道の平坦化）のほか、街路照明や街路樹などの整備を行った。

ア　中央区入船2丁目10番先～湊1丁目3番先

整備内容　　歩道拡幅および平坦化　　整備延長　　180.0m

街路照明整備（デザイン灯）　　7基

高木植栽（ヤマボウシ）　　15本

イ　中央区築地2丁目13番先～14番先

整備内容　　歩道拡幅および平坦化　　整備延長　　95.0m

街路照明整備（デザイン灯）　　4基

高木植栽（ヤマボウシ）　　17本

ウ　中央区日本橋茅場町1丁目8番先～日本橋茅場町2丁目10番先

整備内容　　歩道拡幅　　整備延長　　190.0m

(9)　昭和通り銀座歩道橋昇降機の改修　　［決算額　223,663千円］

昭和通り銀座歩道橋におけるバリアフリー機能の向上を目的として、既設エスカレーター4基のうち2基をエレベーターに改修するため、既存エスカレーター2基を撤去し、新設するエレベーター塔の基礎工事（杭打設など）を行った。

工事概要

所 在 地　　中央区銀座7丁目14番先～銀座8丁目13番先

整備内容　　エレベーター設置　2基

完成予定　　平成29年10月

(10)　歩行者専用橋の整備　　［決算額　1,119,483千円］

朝潮運河歩行者専用橋(桜小橋)の整備として、下部および上部を施工した。

新橋概要

所 在 地　　中央区勝どき2丁目2番先～晴海1丁目8番先

規　　模　　橋長 87.8m、幅員 4.5m～5.5m

完成予定　　平成29年10月

(11)　にぎわいのある道路の整備　　［決算額　110,408千円］

本区にふさわしいにぎわいを創出する上質な通行空間の形成を図り、商業・観光振興に資するため、道路のカラー舗装整備を行った。

整備箇所　　中央区東日本橋3丁目9番先～日本橋横山町9番先

整備延長　　230.0m

車道カラー舗装　　2,382.0㎡

＊　防災・危機管理

(1)　防災拠点運営委員会訓練　　［決算額　9,869千円］

地域の防災拠点運営委員会が自ら企画して実施する防災訓練を支援した。

実施場所　　各防災拠点（21委員会）

参加者数　　延2,606人

主な訓練内容　　避難所開設・運営訓練、初期消火・放水訓練、資器材操作訓練、搬送訓練、ＡＥＤ・応急救護訓練など

(2)　防災対策優良マンション認定制度　　［決算額　6,262千円］

マンションにおける防災対策の一層の推進とコミュニティの醸成を図るため、一定の条件を満たすマンションを「中央区防災対策優良マンション」として認定し、防災資器材等の助成を行った。

ア　認定実績

認定マンション　　57棟（平成29年3月末現在）

イ　助成実績

防災資器材の支給　　20棟

（支給した主な防災資器材）

ガスボンベ式発電機、ＥＶ内防災用キャビネット、レスキューキット、非常用階段避難車、組立式仮設トイレ

防災訓練経費助成金の交付　　26棟

ＡＥＤ購入費助成金の交付　　1棟

(3)　防災区民組織に対する資器材供与の充実　　［決算額　14,203千円］

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、地域防災力の向上を図るため、防災区民組織に対し、平成27年度から平成29年度にかけて重点的かつ計画的に防災資器材を供与している。

供与実績(28年度)

防災資器材　　32組織

バルーン投光器、ガソリン式発電機、折りたたみリヤカー、多人数用救急箱

防災資器材倉庫　　2組織

(4)　マンション向け防災体験プログラム　　［決算額　399千円］

訓練の活性化と防災意識の向上を図るため、子育て世代が参加しやすい新たなマンション向け防災体験プログラム「イザ！カエルキャラバン！」の実施を支援した。また、訓練の企画、運営を居住者が主体となって行うことで、コミュニティの形成と防災組織立上げの契機とした。

実施実績　　1棟

参加者数　　210人（大人120人、子ども60人、スタッフ30人）

(5)　帰宅困難者支援施設運営協議会への支援　　［決算額　4,978千円］

帰宅困難者を受け入れるための運営マニュアルの作成や訓練の実施など「中央区帰宅困難者支援施設運営協議会」の活動を支援している。

平成28年度は、区施設を仮想の一時滞在施設として協議会訓練を実施し、施設運営を協議会員全体で体験した。また、モデル的に京橋地区委員会を立ち上げた。

帰宅困難者支援施設運営協議会総会の開催	1回
分科会の開催	2回
地区委員会の開催	1回
帰宅困難者の受入訓練の開催	1回
訓練ワーキングの開催	1回
幹事会の開催	5回

(6)　住宅・建築物の耐震化助成　　［決算額　618,568千円］

昭和56年の建築基準法改正以前の建築物の耐震性を向上するため、住宅やマンションおよび業務商業建築物の耐震改修等に要する費用の一部または全額を助成した。また、災害時における物資輸送路等を確保するため、緊急輸送道路沿道等の建築物についても費用の一部または全額を助成した。

ア　民間建築物の耐震改修等に要する費用の助成

・木造建築物

住宅	耐震診断・補強計画	47件	11,329千円
	耐震補強工事	8件	23,488千円
	簡易補強工事	27件	38,157千円
業務商業建築物	耐震診断・補強計画	2件	356千円

・木造以外の建築物

住宅	耐震診断	1件	500千円
分譲マンション	耐震診断	1件	2,000千円
業務商業建築物	耐震診断	3件	1,500千円
住宅	補強設計	2件	761千円
賃貸マンション	補強設計	1件	1,000千円
分譲マンション	耐震補強工事	1件	20,747千円

・緊急輸送道路沿道等の建築物（木造以外の建築物）

分譲マンション	耐震診断	1件	2,553千円
業務商業建築物	耐震診断	6件	5,569千円

・特定緊急輸送道路沿道の建築物

耐震診断	4件	15,802千円
耐震補強工事	6件	152,536千円
除却	7件	220,476千円
建替え	6件	111,704千円

イ　木造建築物補強計画内容確認等業務委託

(7)　防犯設備整備費助成　　［決算額　25,114千円］

防犯上の課題を抱える町会・自治会などが、区からの防犯アドバイザー派遣において受けた周辺環境の説明や防犯設備設置に対するアドバイスに基づき、防犯設備を設置した場合に、町会・自治会にはその費用の2/3（上限額200万円）を、町会・自治会と協力して実施する商店会にはその費用の2/3（上限額600万円）を、マンション管理組合などにはその費用の1/2（上限額50万円）を助成した。

また、東京都と区が連携して実施した事業では、地域団体に対して設置費用の5/6（上限額　単独実施500万円・他団体との連携実施750万円）を助成した。

防犯設備整備費助成件数　　26件（うち　東京都の助成制度活用　16件）

(8)　地域防災フェア　　［決算額　38,621千円］

地域防災力の向上と区民への防災拠点の周知を図るため、災害時に避難所となる区内各防災拠点において、防災用品の割引頒布および防災・防犯に関する各種相談等を行う地域防災フェアを実施した。

実施期間　　平成28年5月29日～8月5日

実施会場　　区内各防災拠点、中央区役所、日本橋・月島両特別出張所

実施結果

住宅用消火器	3,348本（期限切れ消火器回収 2,697本）
簡易トイレ	5,351個
家具転倒防止器具	2,799個
緊急告知ラジオ	1,479個
各種相談	360件

(9)　防災用ネットワークカメラの設置　　［決算額　14,942千円］

災害時における特定緊急輸送道路や沿線建築物の被害状況、帰宅困難者滞留状況等の情報をリアルタイムで視覚的に把握し、迅速な意思決定に必要な情報収集機能の強化を図ることを目的として、京橋プラザ屋上の既設高所カメラをパソコンで操作できるネットワークカメラに更新するとともに、新たに東急プラザ銀座の屋上にネットワークカメラを設置した。

(10)　小学校通学路防犯カメラの設置　［決算額　8,664千円］

学校と地域などが連携して行う登下校の見守り活動を補完し、安全対策の強化を図るため、小学校通学路に防犯カメラを設置した。

平成28年度は、既設置の4校に加え、新たに4校（中央小学校、佃島小学校、月島第二小学校および豊海小学校）で設置を行った。

設置校数　8校　中央小学校、日本橋小学校、有馬小学校、佃島小学校、久松小学校、月島第一小学校、月島第二小学校、豊海小学校

設置台数　1校あたり5台

＊　地域整備

(1)　名橋「日本橋」上空の首都高速道路撤去および日本橋再生に向けたまちづくり　［決算額　7,954千円］

日本橋川の再生に向け策定した「日本橋川沿いエリアのまちづくりビジョン」により地区の一体的なまちづくりの活動支援を行った。川沿いの5地区で検討が進められている再開発事業等の全てで準備組合が結成され、うち3地区で国家戦略特区都市再生プロジェクトに登録するなど具体的な進捗が見られた。こうした状況から、首都高速道路移設撤去に関する協議方針をとりまとめるとともに、国や都の協力を得ながら地下化を前提とした新たな道路線形案の技術的な検討に着手した。

また、東京の国際競争力強化につながるまちづくりが一層求められている東京駅前地区については、バスターミナル機能の導入に向け、整備計画の検討および路上バスのバスターミナルへの移行等について検討を行った。

日本橋再生協議会　　開催回数　2回

(2)　築地場外市場地区先行営業施設「築地魚河岸」の開設　［決算額　―　千円］

築地市場の豊洲移転後も、築地の活気とにぎわいを継続するため、築地場外市場の区有地に店舗施設2棟（店舗93区画）を整備した。築地市場は移転延期となったが、平成28年11月19日にプレオープンとして開業した。

小田原橋棟：鉄骨造、地上3階、延べ面積　約4,100㎡

海幸橋棟　：鉄骨造、地上2階、延べ面積　約3,300㎡

(3)　まちづくり支援事業（コミュニティ・ファンド）　［決算額　1,501,231千円］

中央区市街地開発事業指導要綱に基づく、大規模開発等の事業者の協力による開発協力金を原資として、事業区域内の区民の居住継続や地域環境整備活動等の援助を行うことにより、地域の個性を生かしたまちづくりの実現を推進した。

支援事業および援助額

居住継続援助事業	473,025千円
地域環境整備活動等援助事業	2,206千円
特定地域環境整備活動等援助事業	1,026,000千円
（京橋二丁目西地区・勝どき五丁目）	

(4)　市街地再開発事業助成　［決算額　14,481,115千円］

市街地における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新および住宅・住環境の改善を図り、良好な定住型住宅の供給を促進するため、市街地再開発事業者に対し、事業費の一部を助成した。

また、社会経済状況の変化などにより市街地再開発事業が停滞しないよう、緊急的な助成を行い進捗を図った。

助成地区および助成額

ア　市街地再開発事業助成

湊二丁目東地区	2,408,600千円
京橋二丁目西地区	8,000千円
勝どき五丁目地区	1,648,000千円
月島一丁目西仲通り地区	1,468,162千円
銀座六丁目10地区	2,076,800千円
勝どき東地区	682,800千円
日本橋二丁目地区	2,598,000千円
日本橋室町三丁目地区	500,000千円

イ　市街地再開発事業助成（都市・地域再生緊急促進事業）

湊二丁目東地区	891,425千円
京橋二丁目西地区	1,000千円
銀座六丁目10地区	590,500千円
日本橋二丁目地区	1,304,048千円
日本橋室町三丁目地区	303,780千円

３　にぎわいとふれあいのある躍動するまちをめざして

○　にぎわいと活力のある産業のまちづくり

＊　商店街振興

(1)　観光商業まつり　　**［決算額　44,588千円］**

都心における代表的観光商業地区である本区の特性をいかし、区内全商業者が一体となって観光客の誘致を促進するとともに、商業意欲の高揚を図るための各種イベントを実施した。

実施期間　　平成28年10月3日～11月7日

(2)　商店街支援事業補助　　**［決算額　142,229千円］**

ア　イベント事業

商店街が自らの宣伝などを目的として実施する事業に対し、その費用の一部を補助した。

補助件数　　39件

イ　活性化事業

商店街が自ら行う施設整備または顧客の利便性向上等を目的として実施する事業に対し、その費用の一部を補助した。

補助対象事業

銀座すずらん通りアーチ照明および街路灯リニューアル

ウ　多言語対応事業

活性化事業のうち、多言語による情報提供等外国人の受入れのための環境を整備する事業に対し、その費用の一部を補助した。

補助対象事業

「ＧＩＮＺＡ ＧＵＩＤＥ ＢＯＯＫ」制作事業

外国語版「観光ガイドマップ」作成事業

エ　地域協力事業

中央区商店街連合会に加盟している商店街が、町会・自治会、特定非営利活動法人などと協力して実施する事業に対し、その費用の一部を補助した。

補助対象事業

地域協力イベント事業　　1件

(3)　商店街美化促進事業補助　　［決算額　13,205千円］

個性と魅力を持つ活力ある地域商店街づくりを積極的に支援するため、商店街が自ら整備を行った歩道・街路灯等の維持・管理、無線ＬＡＮや無線通信型スピーカーなどの通信費に対し経費の一部を補助した。なお、平成28年度から街路灯の安全点検を補助対象に加えた。

補助対象事業

施設運営費補助（街路灯電気料）	27商店街
施設運営費補助（通信費）	1商店街
施設補修費補助	1商店街
街路灯清掃および点検費補助	2商店街
歩道等補修補助	3商店街

(4)　連携型商店街活性化モデル事業　　［決算額　4,831千円］

複数の商店街や地域支援団体等が連携して取り組む活性化事業の実現に向けて、コンサルタントを派遣し、行動計画の策定等を支援した。

実施内容

お江戸日本橋東地区会の開催	6回
トライアル事業の実施	1回
行動計画の策定	

(5)　商工業観光事業等振興補助　　［決算額　16,458千円］

商工団体等が実施する商工業・観光等振興事業に対し経費の一部を補助した。また、平成28年度から複数の商店街が連携して実施する事業を新たに補助対象に加えた。

補助対象事業

観光資源保存事業補助	30件
商業活動宣伝装飾事業補助	21件
商工団体研修事業補助	4件

(6)　共通買物券の発行　　［決算額　579,300千円］

区内の消費を一層刺激し、地域経済の活性化を図るため、共通買物券を発行し、一冊1万1千円分（5百円券22枚つづり）を1万円で販売した。

販 売 日　　平成28年6月19日

販売場所　　区役所、日本橋区民センター、月島区民センター、勝どき区民館、晴海区民館

発行総額　　5億5千万円

＊　産業振興

(1)　創業支援　　［決算額　7,381千円］

開業率の向上を促進し、地域の活性化を図るため、創業支援に向けた各種施策を実施した。

ア　出張経営相談

来庁が困難な創業希望者に対し、中小企業診断士を派遣して創業に関する相談を実施した。

創業相談件数　　63件（派遣上限5回/1件）

イ　起業家塾

区内在住・在勤者で起業意欲のある者に対し、起業に必要な基礎知識を習得するための講習を実施した。

基礎編受講者数　　38人

実践編受講者数　　21人

個別相談利用者数　　10人

ウ　ホームページ作成経費補助

創業予定または創業後1年未満の者が新たにホームページを開設する場合に、経費の一部を補助した。

補助件数　5件（補助率2/3　限度額6万円）

(2)　産業文化展　　［決算額　33,405千円］

本区における産業活動について、その歴史的歩みや現状、未来への展望などを広く紹介し、区内産業の振興、発展に寄与するとともに、青少年に対する「地域産業教育」に役立てるためのイベントを実施した。（隔年実施）

実施期間　　平成28年10月30日～11月1日

実施場所　　晴海トリトンスクエア

来場者数　　延49,000人

(3)　日本橋問屋街活性化事業支援　　［決算額　5,508千円］

問屋街活性化委員会が行ってきた活性化事業の実績、成果などを踏まえ、日本橋問屋街の再生とさらなる活性化を図るため、情報発信に関する事業、広報事業、文化服装学院との産学連携による人材育成などの活性化事業に加え、問屋街の今後の方向性をまとめた「日本橋問屋街街づくりビジョン」の策定に対する支援を行った。

事業内容

ア　中国語版問屋街ガイドブック改訂版配布

イ　秘書サービス付き中国語版ホームページの運営

ウ　「横山町問屋新聞」「問屋街案内マップ」の発行

エ　ホームページでの各種情報の更新、問屋街説明文の英語版および中国語版の掲載、ソーシャル・ネットワーキング・サービスの活用

オ　講演会の開催

カ　文化服装学院との産学連携事業の実施

公開講座（オープンカレッジ）

学生の問屋街研修（現金問屋の概論講義、タウンウォッチ）

キ　「日本橋問屋街街づくりビジョン」の策定

(4)　商工業融資　　［決算額　1,843,935千円］

区内中小企業の経営の安定と近代化、合理化を促進し、地域商工業のより一層の振興を図るため、次のとおり各種資金の融資あっせん、信用保証料補助および利子補給を実施した。

また、東京都制度融資（経営セーフ・災害緊急）を利用した小規模企業者に対して、信用保証料の一部を補助（限度額30万円）するとともに、商工会議所の推薦により、日本政策金融公庫が無担保・無保証人で融資する経営改善資金融資（マル経融資）の利子支払額の一部を補助した。

ア　貸付件数および貸付額

制　　度　　名	件　数	金額（千円）
運転資金融資	178	1,922,190
設備資金融資	31	460,480
小規模企業資金融資	102	902,100
年末特別資金融資	9	25,200
小口資金融資	317	1,410,110
創造支援資金融資	49	360,920
店舗・工場等小規模再開発資金融資	0	0
災害復旧資金融資	0	0
経営改善支援資金融資	204	2,041,425
団体資金融資	0	0
小規模企業特例緊急運転資金融資	20	55,000
区融資一本化資金融資	12	134,680
計	922	7,312,105

イ　信用保証料補助

区制度融資分	898件	140,338千円
都制度融資分（経営セーフ・災害緊急）	9件	1,856千円

ウ　利子補給　31,217件　488,204千円

エ　経営改善資金融資利子補助　581件　10,218千円

(5)　若年者合同就職面接会　［決算額　254千円］

若年者と求人を希望する企業との合同就職面接会を開催し、若年者の就労の機会を確保するとともに、中小企業の人材確保の場を提供した。

実 施 日　　平成28年11月30日
面接者数　　延147人
求 人 数　　25人
参加企業　　15社
採用者数　　9人

(6)　職業相談・就職ミニ面接会　［決算額　517千円］

ハローワーク飯田橋との連携により、職業相談および就職ミニ面接会を開催し、区民などの就労支援と雇用の安定化を図った。また、毎月第2火曜日に臨床心理士による心理カウンセリングを実施した。

実 施 日　　毎月第2・4火曜日
面接者数　　延174人
参加企業　　37社
職業相談件数　　54件
インターネット求人検索利用者数　　8人
採用者数　　25人
心理カウンセリング参加者数　　9人

＊　観光

(1)　まち歩きツアー舟運コース　［決算額　326千円］

ア　中央区観光協会が、地方の旅行会社と連携し、まち歩きと舟運、宿泊を組み合わせたツアーを実施し、地方からの誘客を図った。

実 施 日　　平成28年11月16日・17日
参加者数　　11人

イ　中央エフエムおよび区内旅行会社とタイアップし、区内に架かる橋をターゲットとした舟運ツアーを実施し、本区の魅力を発掘・発信した。

実 施 日　　平成28年11月23日
参加者数　　30人

(2)　スマートフォン用観光アプリ　　［決算額　2,721千円］

中央区観光協会が、スマートフォンやタブレット端末用の観光地図アプリ「中央区まち歩きマップ」の無料配信を行った。平成28年度は、スポット情報を更新するなどの見直しを行ったほか、中国語版を制作し多言語対応を強化した。

対応ＯＳ　　ｉＯＳ、Android

地図言語　　日本語、英語、中国語

(3)　観光案内施設事業費補助　　［決算額　24,424千円］

区内における観光案内機能の充実を図るため、特に外国人旅行者が多く訪れる地域において、地域団体が公益を目的として多言語による観光案内を行う事業に対し、経費を補助した。

補助対象事業

銀座観光案内所 G Info 運営事業

築地総合案内所「ぷらっと築地」運営事業

(4)　観光関係講座　　［決算額　1,134千円］

外国人旅行者の受入環境の充実を図るため、区内事業者の従業員を対象に、異文化理解を深めるとともに、語学・接客のスキルを向上させるための実践的な講座を実施した。

実施回数　　全5回

受講者数　　57人

(5)　観光拠点(観光情報センター)の開設　　［決算額　284,599千円］

多言語による観光案内や地域の観光情報を集約・発信する機能を備えた、本区の観光情報提供の拠点となる施設「観光情報センター」を開設した。

所 在 地　　京橋2丁目2番1号　京橋エドグラン内

開 設 日　　平成28年11月19日

開館時間　　午前9時～午後9時

○　いきいきと学び豊かな個性を育むまちづくり

＊　学校教育

(1)　学習意欲の向上と学習習慣の定着　　［決算額　6,958千円］

小学校第4・6学年と中学校第1・3学年において「学習力サポートテスト」とともに「意識調査」を実施し、その結果に基づいて個人票を作成・配布することで、児童・生徒の学習意欲と学力の向上を図った。

なお、小学校第5学年と中学校第2学年については、東京都が実施する学力調査結果を活用するとともに、別途「意識調査」を実施した。

また、自主学習支援テキストなどを活用し、家庭での学習習慣の定着を図った。

調査実施日　　平成28年4月28日

(2)　小学校の学力向上対策　　［決算額　70,288千円］

基礎的学習の積み重ねが特に重視される算数について、非常勤講師を全校に配置して、習熟度別指導・個別指導を実施するとともに、より一層の理科授業の充実および活性化を図るため、実験や観察などにおいて教員の支援を行う理科支援員を配置した。

また、放課後や土曜日、夏季休業期間中など、各校の実情に応じた効率的な補習を行い、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図った。

ア　非常勤講師（算数）の配置

小学校16校　　各1人配置（久松・佃島・豊海小学校は大規模校のため2人）

イ　理科支援員の配置

小学校16校　　第5・6学年の全学級（1学級当たり150時間）

(3)　中学校の学力向上対策　　[決算額　61,853千円]

国語・数学・英語の3教科における習熟度別指導・個別指導などの充実を図るため、全校全学級で少人数授業を実施するとともに、各校の実情に応じて、少人数指導教科を拡大（理科・社会）した。

また、夏季休業期間中に教育センターを利用して、習熟度別のコース設定による補習講座を実施するなど、生徒の学力に応じたきめ細かな学習支援を行った。

ア　非常勤講師の配置

24人（国語・数学・英語・理科・社会　各校6人×4校）

イ　夏季補習講座

実 施 回 数　　5日間×2回

参加生徒数　　214人（第1学年111人、第2学年48人、第3学年55人）

参　加　率　　約15.9％（参加生徒数／在籍生徒数）

(4)　英語教育の推進　　[決算額　73,850千円]

グローバル化が進展する中、小学校の英語活動および中学校の英語の指導について、幼少期から英語に親しむことで、英語学習への関心や意欲を持たせるため、全校にＡＬＴ（外国人英語指導講師）を配置し、コミュニケーション能力の向上、中学校英語への効果的な接続、国際理解教育の視点に立った授業内容の展開を図った。

小学校　　第1・2学年　年間11時間（月1時間）

　　第3～6学年　年間35時間（週1時間）

中学校　　ＡＬＴ配置日数　各校年間190日

(5)　健康教育の推進　　[決算額　65,237千円]

ア　小学校の体育指導

全校に体育指導補助員を配置し、児童の関心・意欲や技能に合った実技指導の補助など体育指導を充実させるとともに、マイスクールスポーツ（1校1運動）の継続的な取組を行った。

イ　中学校の体育指導

安全で効果的な指導により生徒の体力向上を図るため、武道・ダンスなどの運動種目ごとの専門的な知識・技術や指導能力を有する種目別サポーターを配置し、体育指導の充実を図った。

ウ　小・中学校の食育指導

大学講師、プロの料理人など「食」の専門家による授業を実施した。

また、親子クッキングスクールでの学校給食の献立紹介や食育に関する啓発資料の展示などを通じて、バランスの良い食事、生活習慣などの普及啓発を図った。

エ　中学校の部活動指導

部活動を安定的に実施するため、専門的な知識・技術および指導能力を有する指導員を外部から募り、部活動の活性化を図った。

(6)　国際教育・理数教育の推進　　[決算額　13,524千円]

ア　パイロット校における国際教育

常盤小学校をパイロット校に指定し、さまざまな取組を通じて、国際教育の推進を図った。また、常盤小学校は、平成27年12月18日に文部科学省から「教育課程特例校」の指定を受けている。

・英語科授業時数　　第1・2学年　年間　70時間
　　第3～6学年　年間 105時間
・国際科授業時数　　第3～6学年　年間　35時間
・小学校英語講師の配置
・ＡＬＴ（外国人英語指導講師）の配置　週3日
・英語検定の受験
・タブレット端末を活用した、児童の興味関心や習熟度に応じた個別学習および反復学習

イ　パイロット校における理数教育

城東小学校をパイロット校に指定し、さまざまな取組を通じて、理数教育の推進を図った。

・「理数の時間」　各学年　年間35時間
・自然体験学習（サイエンスキャンプ）の実施
・早稲田大学や地域企業と連携した実験教室の実施
・タブレット端末を活用した、児童の興味関心や習熟度に応じた個別学習および反復学習

(7)　特別支援教育への対応　　［決算額　132,671千円］

ア　特別支援教育専門員の配置

適切な就学相談を実施するとともに、就学後においても継続的にアプローチし、個々の障害に応じた教育的支援を行った。

特別支援教育専門員　5人　　相談件数　98件

イ　特別支援教育アドバイザーの派遣

全学校・幼稚園に医師や臨床心理士などを派遣し、心身に障害のある児童・生徒・園児についての専門的な指導・助言などを、教員に対して行った。

派遣回数　　小・中学校　各校年3回　　宇佐美学園　年3回

幼稚園　各園年3回　　特別支援学級・通級指導学級　各学級年3回

ウ　特別支援教室の設置

従来通級指導学級（情緒障害等）で行っていた指導を児童が在籍校で受けられるようにするため、「東京都特別支援教育推進計画」（第3次実施計画）に提示されている「特別支援教室」を平成29年度から全小学校に設置することとしている。平成28年度は小学校9校に設置した。

エ　特別支援学級の運営

心身に障害のある児童・生徒に対し、特別支援学級を設け特別支援教育補佐員を配置するなど、一人一人の能力に応じた適切な教育を行った。

また、明正小学校の通級指導学級（難聴・言語障害）において、ことばやきこえに課題がある児童の状態に適した専門性の高い支援を行った。

オ　学習指導補助員の配置

通級指導学級に通う児童・生徒が、在籍校の通常学級で学習する場合や、教育的支援を必要とする児童・生徒が通常学級に在籍する場合において、きめ細かな支援と学習指導を円滑にすることを目的として、学習指導補助員を配置した。

カ　介助員の配置

重い障害のある児童・生徒が在籍する学級に対し、介助員を配置した。

(8)　心を育てる教育の推進　　［決算額　13,683千円］

深刻ないじめ問題などを未然に防止するため、命の尊さや友情の大切さといった心に訴える授業を全校で実施した。

また、不登校児童・生徒にさまざまな角度からアプローチするため、教育センターで実施する適応教室「わくわく21」に適応教室専門員（教職経験者）を配置し、学校などと連携を図り、不登校の児童・生徒の生活や学習状況を詳細に把握するとともに、自立に向けた支援を行った。

ア　命と心の授業（外部講師の講演など）

小学校　16校　　中学校　4校

イ　適応教室専門員の配置

適応教室専門員　　4人

(9)　オリンピック・パラリンピック教育の推進　　［決算額　16,113千円］

平成27年度から、全小中学校・幼稚園において、本区独自のオリンピック・パラリンピック教育を推進しており、取組のさらなる充実を図った。

ア　オリンピック・パラリンピック教育

・オリンピック・パラリンピック学習

・中央区版「一校一国運動」

・ハートフルスポーツ

・体力向上に向けた取組

イ　オリンピック・パラリンピック英語講座

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、生徒に夢や目標を持たせるとともに、英語力の向上を図った。

対象者　　中学校第1・2学年　40名

講　師　　ネイティブ講師

回　数　　全6回

内　容　　おもてなし講座（ボランティア業務ロールプレイングなど）、
中央区ガイドマップ作成など

(10)　教育相談等　　［決算額　57,618千円］

教育全般に対する相談業務を担う専任教育相談員（教職経験者、臨床心理士など）が、教育センターでの来所相談や電話相談を行うとともに、小学校および幼稚園を訪問した。

さらに、いじめ、不登校、暴力行為など、生活指導上の課題に対応するため、関係機関との連絡・調整を図るとともに、専門的な知識や技術を用いて、問題を抱える生徒や家庭を支援するスクールソーシャルワーカーを、全中学校に派遣した。

専任教育相談員　　15人　　相談案件数　　279件

スクールソーシャルワーカー派遣回数　　中学校4校　延196回

(11)　小学校英語講師の配置　　［決算額　3,525千円］

次期学習指導要領では、小学校における英語の教科化、授業時数の増加など、英語教育が充実される予定である。これに向けて、国際教育パイロット校を除く全小学校を対象に教員の指導力向上を図るため、小学校英語講師による巡回指導（平成28・29年度の2カ年で全小学校を巡回）を行う。

平成28年度は、4校（泰明小学校、日本橋小学校、阪本小学校、豊海小学校）の巡回指導を行った。

(12)　早稲田大学と連携した理数教育の推進　　［決算額　299千円］

平成27年6月に協定を締結した早稲田大学理工学術院と連携し、小中学校の理数教育の推進を図った。

ア　小学校科学実験教室

実施時期　　夏休み期間の3日間（うち1日台風のため中止）

参 加 者　　小学校第5学年　69名（中止35名）

内　　容　　大学生を講師とした科学実験教室

（食品の科学　人工イクラを作ってみよう！）

イ　中学校理数講演会等

教授による理科・数学への興味が高まる内容の講演会などを全中学校で実施した。

(13)　学校評価システムの推進　　［決算額　2,094千円］

学校運営の改善と発展を図るため、全学校・幼稚園において、教職員による「自己評価」と自己評価の結果を踏まえた「学校関係者による評価（外部評価）」を実施し、評価結果を公表した。また、同評価に学校運営に専門的な識見のある第三者を加えた外部評価を実施した。

第三者を加えた外部評価実施校・園

有馬小学校・幼稚園、久松小学校・幼稚園、阪本小学校、佃島小学校、
晴海中学校、月島幼稚園

(14)　ひとり親家庭等の子どもの学習支援事業　　［決算額　2,162千円］

経済的な理由により塾などに通えない、中学1年生～中学3年生までのひとり親家庭などの子どもに対し、大学生などの学習支援ボランティアによる無料の学習会を実施し、子どもの学習習慣の定着や、ひとり親家庭特有の悩みに対する精神的なケアを図った。

定　　員	10名程度
実施内容	ボランティア1名に対し児童1～2名程度の個別指導学習方式 全24回（1回120分）
受講人数	延198人

(15)　小学校・幼稚園の改築・増築　　［決算額　8,769,452千円］

児童数の増加への対応とともに施設機能の更新を行い、新しい時代に即した教育環境の設備や良好な学習空間の確保を図るため、小学校・幼稚園の改築・増築を行った。

ア　豊海小学校・豊海幼稚園の改築（防潮堤整備を含む）

整備経過等	平成25年度	基本設計・実施設計
	平成26年度～28年度	建設工事
	平成28年9月	新校・園舎開設

イ　日本橋小学校・日本橋幼稚園の改築

整備経過等	平成26年度	基本設計
	平成27年度	実施設計
	平成27年度～28年度	建設工事

ウ　有馬小学校・有馬幼稚園の増築

整備経過等	平成26年度	基本設計・実施設計
	平成27年度～28年度	建設工事
	平成28年9月	増築園舎開設

エ　月島第三小学校・晴海幼稚園の改築

整備経過等　　平成26年度　　基本設計・実施設計

平成27年度～28年度　　建設工事

オ　城東小学校・阪本小学校の改築

整備経過等　　平成28年度　　阪本小学校新校舎基本設計

(16)　学校の主な改修　　［決算額　275,909千円］

学校施設の老朽化に伴い、以下の改修工事を行った。

ア　泰明小学校

冷暖房機取替

工事期間　　平成28年12月14日～平成29年3月31日

イ　月島第二小学校

外壁改修等

工事期間　　平成28年6月27日～平成29年1月20日

ウ　晴海中学校

体育館天井改修

工事期間　　平成28年6月27日～平成28年9月21日

エ　日本橋中学校

体育館天井改修、プール塗装等

工事期間　　平成28年6月30日～平成28年8月31日

＊　生涯学習・スポーツ

(1)　スポーツ推進ビジョンの策定　　［決算額　5,746千円］

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機としたスポーツへの気運の高まりやスポーツ基本法の理念、国や東京都のスポーツ振興に関する方針を踏まえ、スポーツの概念を健康づくりやレクリエーションなども含めて広く捉え直すとともに、これまでのスポーツ推進の取組をさらに充実・発展させていくため、本区のスポーツ推進の方向性を示す「中央区スポーツ推進ビジョン」を平成29年3月に策定した。

(2)　アスリートによるスポーツイベントの開催　　［決算額　290千円］

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成を図るとともに、子どもを含めた30代・40代のファミリー層がスポーツに親しむきっかけとするため、バレーボールオリンピアン等によるスポーツ指導や親善試合を行う宝くじスポーツフェア「はつらつママさんバレーボール in 中央区」を実施した。

実 施 日　　平成28年12月17日・18日

会　　場　　総合スポーツセンター

実施内容　　バレーボール指導者クリニック、バレーボール教室、フレンドリー・マッチなど

参加者数　　バレーボール指導者クリニック　　54人

　　バレーボール教室　　166人

来場者数　　750人

(3)　子どもの得意スポーツ発見事業　　［決算額　1,654千円］

スポーツ実施層の裾野を広げていくため、運動に関する基礎を培う時期の児童を対象に、身体や体力づくり等のさまざまな体験を通して自らの可能性を発見することで、得意・不得意にかかわらずスポーツに親しむきっかけづくりとなる教室を実施した。

参加者数

教室（全30回）　　39人

講演会等（全4回）　　延94人

(4)　晴海運動場の代替施設の確保　　［決算額　7,672千円］

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会選手村の整備に伴い、平成26年度をもって廃止した晴海運動場の代替施設として、新たにサッカー場を確保した。

代替施設　　江戸川河川敷サッカー場　1面（埼玉県三郷市）

利 用 日　　土曜日・日曜日・休日

利用時間　　4～9月　　午前6時～午後6時

　　10～11月　午前6時30分～午後4時30分

○　文化の香る交流のまちづくり

＊　コミュニティ

(1)　大江戸まつり盆おどり大会　　[決算額　43,035千円]

区民のふるさと意識の高揚と地域の活性化を図るため、江戸のまちにゆかりの深い盆踊りを中心とした「中央区大江戸まつり盆おどり大会」を実施した。

実 施 日　　平成28年8月26日・27日
実施場所　　浜町公園
実施内容　　盆おどり大会、大江戸縁日コーナー、友好・交流都市コーナーなど
参加者数　　延76,000人

(2)　雪まつり　　[決算額　13,061千円]

自然の雪と接する機会の少ない区民が参加できる冬のイベントとして、本区の友好都市である山形県東根市から雪の提供（10トントラック20台分）を受けて実施した。（隔年実施）

実 施 日　　平成29年2月11日・12日
場　　所　　あかつき公園
内　　容　　雪遊びコーナー、ミニ動物園、味コーナー、炊き出しコーナーなど
来場者数　　延21,000人

(3)　協働提案事業　　[決算額　1,721千円]

社会貢献活動団体（ＮＰＯ法人・ボランティア団体など）と区が力を合わせて公共的な課題解決に取り組み、よりきめ細かな行政サービスを提供するため、平成27年度に協働提案事業を公募し、審査のうえ採択された１事業について平成28年度に実施した。

採択事業　　ペットの適正飼養およびマナー普及のための語り場運営事業
　人がペットとともに暮らすうえでの諸課題について、各回異なるテーマを設定したカフェ（少人数で気軽に語り合う場）を実施した。テーマごとに専門家、活動家をゲストに招き、参加者間の交流を通じて、仲間づくりとともにペットの適正飼養について意識を高めた。
実施団体　　動物と暮らしやすいまちづくり会
受講者数　　事前説明会　　32人
　　コミュニティカフェ（全6回）　　延159人

(4)　区民還暦祝い事業　　［決算額　10,711千円］

還暦を迎える区民の人生の節目を祝福するとともに、今後の人生をより充実させるための学びへの意識高揚や、これまで培った知識や経験・能力を地域社会で生かしたいという行動の契機とすることを目的に実施した。

ア　還暦祝い状・祝い品（映画ペア券）の贈呈

対　　象　　平成28年度中に60歳を迎えた区民

発送時期　　平成28年9月

イ　還暦のつどいの実施

実 施 日　　平成28年11月23日

対　　象　　参加を希望する還暦対象者

会　　場　　銀座ブロッサム（中央会館）ホール

内　　容　　シニア世代の活動紹介、コンサート

入場者数　　584人（同伴者等を含む。）

＊　文化振興

(1)　中央区まるごとミュージアム　　［決算額　32,662千円］

本区全体が、名所・旧跡、画廊・美術館、水辺などさまざまな魅力に満ちあふれるミュージアムであることから、区民等が区内を無料のバスや船で回遊しながら、民間事業者等が行う文化イベントへの参加を通じて区の文化的な魅力を楽しみ享受できる一日となるよう、区と中央区文化・国際交流振興協会の共催で実施した。

開 催 日　　平成28年10月30日

場　　所　　中央区全域

参加者数　　延65,000人

（江戸バス･借上バスの乗車人数 5,769人、船の乗船人数 4,143人）

(2)　まちかど展示館　　［決算額　9,257千円］

地域文化の継承と区民の文化意識の向上を図るとともに、地域への誇りや愛着心をはぐくむため、区民等が地域にある文化資源を発掘し、一般に展示・公開する施設を「中央区まちかど展示館」として認定し、整備費等の助成を行ってきた。

平成27年度からは、展示館事業者等で構成する「まちかど展示館運営協議会」において、専用ホームページやフェイスブックによる情報発信の強化、展示館見学ツアーを実施するなど、「中央区まちかど展示館」を観光・文化資源としてより一層活用していくための取組の充実を図った。

認定総数　　22施設

助成件数　　18件　（施設管理運営費）

(3)　近代建築物調査結果の活用　　［決算額　894千円］

平成23年度から平成25年度の3カ年で実施した近代建築物の調査結果を活用し、その情報を広く発信するため、平成28年度は建物6件・街並み7件を撮影し、編集を行った。また、近代建築物の魅力を知ってもらうため、企画展やまち歩きを実施した。

企画展

「中央区近代建築物パネル展」（平成28年6月4日～7月3日）

入場者数　　延3,686人

まち歩き

「銀ブラビルめぐり」（平成29年3月5日）

対 象 者　　文化財サポーター・観光特派員

参加者数　　23人

＊　平和

(1)　平和の都市（まち）の楽しい集い　　［決算額　9,308千円］

本区は、昭和63年3月15日に平和都市であることを宣言した。

この宣言の趣旨を普及させるとともに、平和の大切さを区民に訴えるため「平和の都市（まち）の楽しい集い」を開催した。

開 催 日　　平成29年3月15日

場　　所　　銀座ブロッサム（中央会館）ホール

内　　容　　クラシックコンサート

「愛の想い・響く思い～音楽で奏でる絆～」

出 演 者　　奥村　愛、山形　由美、渡辺　香津美、

山宮　るり子、住谷　美帆

前売入場券販売数　　880枚

当日入場者数　　784人

(2)　平和展　　［決算額　2,411千円］

本区の空襲被害、戦中・戦後の市民生活や子どもの様子など、当時を物語る写真や戦災資料を公開展示することにより、区民に平和の大切さ、尊さを訴え、平和を見つめ直すきっかけづくりとして、平和展を開催した。

また、次代を担う児童・生徒に戦争の悲惨さ、平和の大切さを考えてもらうきっかけづくりとするため、区立小・中学校巡回平和展を実施した。

ア　平和展

期　　間　　平成29年2月24日～3月10日の開庁日

場　　所　　区役所1階　ロビー

日本橋区民センター1階　エントランスホール

月島区民センター1階　コミュニティサロン

展示内容　　写真パネル・物品資料の展示、戦災体験者証言・平和アニメＤＶＤ上映

イ　区立小・中学校巡回平和展

対 象 校　　小学校16校

中学校 4校

期　　間　　平成28年9月29日～平成29年2月8日

1校当たり2週間の展示

内　　容　　写真パネルの展示、平和絵本・平和クイズの展示・閲覧、

戦災体験者証言・平和アニメＤＶＤの貸出

４　その他の主要な課題への対応と区政改革の推進

○　新たな課題への対応

(1)　新たな基本構想の策定　　［決算額　16,170千円］

急激な人口増加や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会など、本区を取り巻く環境が大きく変容している中、今後の行政運営の指針となる新たな基本構想を策定することとし、平成28年2月に学識経験者、区議会議員、区民、区内公共的団体の代表者等で組織する中央区基本構想審議会を設置するとともに、「中央区基本構想」および「中央区基本計画に盛り込むべき施策のあり方」について諮問した。平成28年度は、同審議会における約1年間にわたる審議を経て、平成29年2月に答申を受けた。

(2)　公共施設等総合管理計画の策定　　［決算額　16,956千円］

公共施設や道路等のインフラについて、長期的な視点を持った最適なマネジメントを実現し質の高い行政サービスを持続させるため、公共施設等の現状や管理に関する基本目標・基本方針などを示した「中央区公共施設等総合管理方針」を策定した。

(3)　本の森ちゅうおう(仮称)整備計画見直しに伴う八丁堀駅周辺施設の再編

［決算額　5,918千円］

本の森ちゅうおう（仮称）整備計画の推進にあたり、桜川公園を中心とする八丁堀駅の周辺地区をゾーンとして捉え、新たな公共施設や老朽化した既存施設を再編・整備し、連携を図ることで、年齢・性別・国籍等が異なる多様な人々が憩い、集い、活動できるエリアにするとともに、新たな出会い・発見・交流の場を提供することを目的として、基本計画報告書を作成した。

(4)　「区のおしらせ　中央」の個別配送　　［決算額　135千円］

新聞を購読していない高齢者・障害者で、区施設などで「区のおしらせ　中央」を入手することが困難な方を対象に個別配送を実施した。

配送した号　　毎月11日号・21日号、1月1日号（延べ25号）

延べ配送件数　　1,306件

(5)　東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた区民参加の推進

［決算額　311千円］

ア　中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会の運営

東京2020大会に向けて、区民、関係団体・機関および区が一体となって地域の発展に取り組んでいくため、関係者間の情報共有および連絡調整を強化するとともに、地域の自主的な取組の促進等を行う会議体として、中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会を運営している。平成28年度には新たにボランティア検討部会を設置した。

設立年月日　　平成27年12月17日

構　成　員　　37人

検 討 部 会　　観光・文化検討部会(平成28年3月28日設置)

ボランティア検討部会(平成29年1月26日設置)

イ　オリンピック・パラリンピックに関する講演会の開催

東京2020大会の開催に向け、ボランティア活動の推進など、区民の気運醸成を図るきっかけづくりの場として、オリンピック・パラリンピックに関する講演会を開催した。

実施日・内容

・平成28年度第1回　　平成28年8月1日　　参加者数　　89人

「オリンピアンが体験したこと、そしてリオ2016大会について」

・平成28年度第2回　　平成29年3月16日　　参加者数　　70人

「メダリストが体験したリオ2016大会について」

(6)　住民票の写しおよび印鑑登録証明書のコンビニ交付の開始　　［決算額　3,457千円］

区民の利便性を高めるため、マイナンバー制度における個人番号カードを利用したコンビニ交付を平成28年4月から開始した。

交付通数　　住民票の写し　2,141通、印鑑登録証明書　1,574通

(7)　東根市友好都市提携25周年記念事業　［決算額　3,052千円］

平成3年に山形県東根市と友好都市提携を行ってから、25周年を迎えたため、両都市で行われる各種行事に相互が参加し、両都市の一層の友好と親善を深めた。

東根市訪問

訪 問 日　平成28年8月11日～12日

事業内容　ひがしね祭へ参加

（佃中学校月島太鼓部および日本橋中学校ダブルダッチ部が演奏・演技を披露）

訪 問 者　区長、区議会議長、佃中学校月島太鼓部、

日本橋中学校ダブルダッチ部ほか　（計38名）

東根市来訪

来 訪 日　平成28年8月26日～27日

事業内容　大江戸まつり盆おどり大会へ参加

（東根市民団体『チーム「楽」』がよさこい踊りを披露）

来 訪 者　市長、市議会議長、チーム「楽」ほか　（計24名）

(8)　サザランド市姉妹都市提携25周年記念事業　［決算額　11,783千円］

平成3年にオーストラリア・サザランド市と姉妹都市提携を行ってから、25周年を迎えたため、相互に訪問交流を行い、両都市の一層の友好と親善を深めた。

サザランド市訪問

訪 問 日　平成28年4月13日～17日

事業内容　歓迎会、市内視察等

訪 問 者　区長、区議会議長、区議会議員ほか　（計14名）

サザランド市来訪

来 訪 日　平成28年5月17日～18日

事業内容　歓迎会、区内視察等

来 訪 者　市長ほか　（計17名）

(9)　家計相談支援事業　　［決算額　3,110 千円］

家計収支の均衡が取れないなど家計状況の課題を明らかにして、生活困窮者の生活再生への意欲を喚起するとともに、家計を管理する力を高めるため、必要な情報の提供や自立に向けた専門的な助言・指導を行った（相談員1名、週2回配置）。

対 象 者 数　　10人
面 接 回 数　　延58回（平均5.8回/人）
居 宅 訪 問　　6回
他機関利用　　3回
支 援 期 間　　平均6カ月/人

(10)　自転車点検・保険加入の促進　　［決算額　144千円］

自転車の定期的な点検・整備を促すことで、自転車利用における安全意識の向上および交通事故の防止を図るため、自転車安全整備士が点検･整備を行い、安全が確認された自転車に貼付されるＴＳマークに付帯する自転車保険（有効期間1年の賠償責任保険･傷害保険）加入に係る費用の助成を行った。

助 成 額　　1,000円
助成件数　　144件

(11)　インターネットによる区議会映像の配信　　［決算額　9,982千円］

区民に身近な区議会を目指し、開かれた区議会の一環として、区議会本会議の録画映像をパソコンやスマートフォンから視聴できるように、インターネット配信を開始した。

開始時期　　平成29年第一回定例会
配信内容　　定例会一般質問および区長所信表明

○　区施設の改修

(1)　日本橋社会教育会館・日本橋図書館　［決算額　709,446千円］

日本橋小学校・幼稚園の増床に伴うフロア移転工事および内部改修工事を行い、併せて施設老朽化による大規模改修工事を行った。

工事期間　　平成27年7月～平成30年3月

(2)　月島社会教育会館晴海分館「アートはるみ」・ふれあい作業所［決算額　125,267千円］

月島第三小学校等複合施設大規模改修工事に伴い、改修を行った。

工事期間　　平成27年10月～平成30年3月

(3)　総合スポーツセンター　［決算額　238,758千円］

施設の老朽化に伴い、外壁・防水改修工事、昇降機設備取替工事、監視カメラ等設備取替工事を行った。

(4)　特別養護老人ホーム等「マイホーム新川」　［決算額　33,102千円］

施設の老朽化に伴う大規模改修工事を平成29年度から開始するため、実施設計を行った。

工事期間　　平成29年7月～平成32年3月（33カ月間）

(5)　リサイクルハウス「かざぐるま箱崎町」　［決算額　107,710千円］

施設の老朽化に伴い、電気設備保全改修・機械設備改修工事を行った。

工事期間　　平成28年6月7日から平成29年2月28日まで

(6)　月島西仲住宅　［決算額　31,455千円］

施設の経年劣化に伴い衛生設備等の改修を行った。

改修期間　　平成28年9月～平成29年1月

改修内容　　ガスコンロ、レンジフードおよび給湯設備の取替

(7)　月島清澄通りまちづくり支援用施設　［決算額　17,412千円］

施設の経年劣化に伴い外壁および防水改修工事を行った。

改修期間　　平成28年10月～平成29年3月

改修内容　　外壁のひび割れ、欠損部補修および全面塗装等
屋上、外廊下、バルコニー等の防水および内部階段室壁、
手すり等の塗装

(8)　築地場外市場地区まちづくり支援用施設　［決算額　47,875千円］

施設の経年劣化に伴い、Ａ棟の外壁等の改修を行った。

改修期間　　平成28年9月～平成29年3月

改修内容　　外壁改修工事、屋根改修工事

平成28年度

主要な施策の成果説明書

刊行物登録番号
29－047

編集・発行　中央区企画部政策企画課
中央区築地一丁目1番1号
電話　03(3546)5212

印　　刷　タナカ印刷株式会社　浜町営業所
中央区日本橋浜町三丁目39番11号302
電話　03(5623)3981